

いわき市防災マップ【小川地区】



さいがい じょうほう せつめい 災害の 情報の 説明

①河川洪水浸水想定（夏井川、小玉川）

1000年に1回くらいの大雨で川の堤防が壊れて水が外に出たときに、水が来るところです。
2018年3月から2023年7月までに福島県が決めた情報です。

上に書いてある川を調べた情報です。
線状降水帯などで、たくさん雨が短い時間に降ったときは、川の水位は地図に色がついていないところにも来るかもしれません。
（詳しいことは福島県のウェブサイトを見てください。[<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41045b/kouzuisinsou.html>]

②津波浸水想定

とても大きい津波が来たときに、どこに水が来るかを書いています。

2022年8月に福島県が発表した情報です。

（詳しいことは福島県のウェブサイトを見てください。[<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41045a/tsunami-shinsusoutei.html>]

③土砂災害警戒区域、④土砂災害危険箇所

大雨や地震のときに、土砂災害が起きるかもしれないところです。

2023年2月17日までに決まった情報です。

（詳しいことは福島県のウェブサイトを見てください。[<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41380a/kisochousakekka-iwakikensetsu.html>]

その他

いわき市が決めた避難所などや、浸水想定区域にある要配慮者利用施設（災害のときに助けが必要な人が使う場所）のことなどは、いわき市のウェブサイトを見てください。

どの避難所が使えるか、どのくらい避難所が混んでいるかはVACANを見てください。ウェブサイトから地図で確認できます。



いわき市が決めた
避難所など



浸水想定区域にある
要配慮者利用施設など



VACAN(使える避難所が
確認できます。)

ちず せつめい 地図の 説明

避難施設（逃げる場所）

- 一時避難場所（少しのあいだ逃げる場所）
- 津波避難場所（津波のときに逃げる場所）
- 津波避難ビル（津波のときに逃げる建物）
- 広域避難場所（大きい火事のときに逃げる場所）
- 避難所（逃げる場所）

※「こうずい×」は洪水のとき使えません。「つなみ×」は津波のとき使えません。

その他の場所

- 役所や消防署など
- 警察や、電気などに関係のある場所
- 冠水危険箇所（雨がたくさん降ると水が入ってきて危ない場所）
- 河川洪水浸水想定区域の解析起点（※ここから川を調べています。）
- 地区を分ける線

災害が起きそうな場所

地図に色がついている場所は、災害のとき危ないです。

①河川洪水浸水想定区域

川の水位が外に出たときに水が来る場所

川の水位が外に出たときの水位の高さ（水の上から地面までの高さ）を書いています。

- 20mより高い
- 10m～20m
- 5m～10m
- 3m～5m
- 0.5m～3m
- 0.5mより低い

②津波浸水想定区域

（津波が来たときに気を付ける場所）

- 津波浸水想定区域

③土砂災害警戒区域

（土砂災害が起きそうな場所）

- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域

④土砂災害危険箇所

（土砂災害のときに気を付ける場所）

- 土石流危険渓流
- 土石流危険区域
- 急傾斜地崩壊危険箇所
- 急傾斜地崩壊被害想定区域
- 地すべり危険箇所

【注意】・災害がひどいとき、洪水浸水想定区域にある避難所は使えないことがあります。